

ジョブサポーター養成講座

発行元：半田市 平成 31 年 2 月

半田市では、障がい者の職場定着支援を目的として、企業の中で共に働く支援者である「ジョブサポーター」を養成しています。

障がい者雇用に踏み出す企業や、取り組んでいる企業の担当者を対象に、障がい者雇用について学ぶための講座を開催しました。

【概要】

日 時：平成 31 年 1 月 22 日（火）

9 時 30 分～16 時 30 分

場 所：半田市役所 301 会議室

参加人数：9 名（企業数 8 社）



①半田管内の障がい者雇用の現状

障がい者差別解消法と合理的配慮について

講師：半田職業安定所 所長 出口 義将 氏

- 法定雇用率の引き上げもあり、障がい者の就職件数は伸び傾向。知的、精神、発達障がいは今後の伸びしろが大きく、就職や職場受入れへの支援が必要。
- 合理的配慮の基本的な考えは、特別扱いをしないこと。先入観で決めつけるのではなく、相互の理解が大切。“ボタンの掛け違い”が差別と捉えられるもある。
- 虐待と思われる事案は本人からの発信が少なく、早期に気づく周囲の目が重要。

②ジョブライフサポーターの取組みについて

講師：半田市社会福祉協議会 山本 紳二 氏

- ジョブライフサポーターは障がい者を生活面から支え、職場や支援機関との橋渡しを行う半田市独自の取組み。
- 職場や支援者、家族でもない「第三者」として、指導や応援よりも、話を聞くことに主眼を置いた支援ができる。

③障がいのある方の雇用をすすめるために

障がい特性に応じた就労とは

講師：半田市障がい者相談支援センター 法安 佐栄 氏
一ノ草病院 精神保健福祉士 吉川 真由美 氏

- 「障がい者」に対するイメージから、障がい者雇用への苦手意識が生まれやすいが、業務の見直しや仕事の細分化は誰もが働きやすい環境づくりにつながる。
- 「なぜ困っているのか」は障がいに由来するものではない場合もある。伝え方を考え、アプリを活用するなど、お互いに実践しやすい手法を考える。

④障がい者雇用の実例報告

講師：寿産業(株) 杉江 富夫 氏

(株)カジスマイル 佐藤 一人 氏

- 障がい者との向き合い方は、まだ学ぶことも多い。障がいというよりも、個人特性として受け止めている。
- 相互利益が必須。戦力として採用し、障がい者のマイナス面ではなくプラス面を強く意識するようになった。
- 支援機関や実習を活用し、採用までを丁寧に進めたことで、本人の負担も減り、即戦力として活躍している。
- 就職に向けた様々な挑戦により、本人の自信や自己肯定感が生まれ、本人自身が変わっていく。何のために仕事をするのか考えさせ、やりきったことを評価する。

⑤グループワーク

これまでの講義を聞き、人事と現場サイドの 2 グループに分かれ、杉江氏と佐藤氏を加えてワークを実施。職場全体の障がい理解を進める難しさ、担当者としての実践が周囲や職場に評価されないなどの意見が出ました。



受講者に修了証を交付しました。
今後の皆さんの活躍を
期待しています！！

お問い合わせ先 半田市障がい者自立支援協議会事務局

半田市障がい者相談支援センター 法安・池田

TEL 0569-21-5585

半田市役所地域福祉課 岡田・澤田

TEL 0569-84-0643